

令和 8 年 2 月 3 日

大学院学生各位  
To All Graduate Students

令和 7 年度  
基盤医学特論 開講通知  
Information on Special Lecture Tokuron AY2025

題目：ストレスによる行動変容の多様性を創発する脳内メカニズム  
Title: Molecular and neural mechanisms of behavioral heterogeneity induced by psychosocial stress

講師：内田 周作 先生  
東京科学大学総合研究院難治疾患研究所  
統合ストレス医科学分野・教授

Teaching Staff: Shusaku Uchida, PhD  
Professor, Department of Integrative Stress Science  
Medical Research Laboratory  
Institute of Integrated Research Institute of Science Tokyo

日時：令和 8 年 3 月 10 日（火）15:30－17:00  
Time and Date: March 10, 2026, 15:30－17:00

場所：環境医学研究所 南館大会議室  
Room：Research Institute of Environmental Medicine, Room S204

使用言語：日本語  
Language：Japanese

本講義では、心理社会的ストレスがどのように脳内ネットワークを変化させ、行動の選択や情動反応を変容させるのかを、多階層の神経科学データに基づいて解説する。慢性ストレスがシナプス可塑性や神経回路の機能的結合をどのように再編成し、不安、回避行動、アンヘドニアといった行動変化を引き起こすのか、最新の動物モデル研究を紹介する。さらに、ストレスに対する脆弱性とレジリエンスの神経基盤、ならびにストレスからの回復を導く神経回路についても議論し、脳科学に基づく新たな介入可能性を展望する。

\* 関係講座・部門等の連絡担当者: 環境医学研究所 神経系分野 竹本さやか (3877)  
Contact: Neuroscience and Pathobiology, Research Institute of Environmental Medicine (Phone; Ext.3877)  
[注意] Notice 事前の申込みは不要です。No registration required.

医学部学務課大学院係  
Student Affairs Division, School of Medicine